

※ 今週のアウトルック (4/27~5/2)

先週は、ドル売りが幾分進む週となりました。

マクロ指標の発表や、今後の政策に関する要人発言などに決定力に欠けるものが多く、ドル高に対するポジション調整的な動きが主だったように思います。

今週は後半にFOMCや米国GDPの発表などを控えているものの、来週に米国雇用統計を控えているため、余程のサプライズがない限り動きづらい週となる可能性が高いように思います。

先週ドル円は、118円台後半から120円付近のレンジ的な動きとなりました。経済指標などの発表で、一時的にドル高、ドル安に振れることはあっても、トレンドを示唆するようなものとはなりませんでした。

今週も、決定力不足から動きづらい結果となりそうですが、FOMCのサプライズ的な発表には注意したいところです。

ドル円の予想レンジは118.5円から120.5円です。

先週ユーロは、ドルの戻り売りなどの影響から、幾分ユーロ高が進んでいます。今週ももう少しだけこの状況を継続するか、レンジ的な動きとなる可能性が高いように思います。

ただ、ギリシャ問題は相変わらず予断を許さない状況が続いているため、サプライズ的な発表により、大きく動く可能性は想定しておいた方が良いでしょう。

ユーロ円の予想レンジは125円から131円です。

ポンド円は、大幅下落の可能性が今のところだいぶ薄らいだようです。ただ、このまま再び上昇トレンドを再開するかどうかは、今週前半に185円を目指す動きとなるかどうかによって、大きく左右されそうです。

ポンド円の予想レンジは175円から185円です。

今週は、FOMCにサプライズがない限り、小動きな展開となりそうですが、ギリシャ情勢と、過熱気味の株式市場の反動には十分注意したいところです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。